

話題のCMシリーズの新作が登場 松本人志「うーん、タウンワークだね！」 今度の松ちゃんは、眼鏡姿で通訳に挑戦！

求人メディア『タウンワーク』新TV-CM 9月12日よりオンエアスタート

株式会社リクルートジョブズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：柳川昌紀）が運営する、地元の仕事が探せる地域密着型の求人メディア『タウンワーク』は、2016年9月12日（月）より新TV-CMの放送を開始いたします。

松本人志さんがさまざまな場所で、さまざまな役を演じる『タウンワーク』のCMシリーズ。2015年7月にスタートし、今作で11作目を迎えました。今回、松本さんが演じたのは「通訳」。記者会見を舞台に、「あのセリフ」を交えて飛び出す独特な通訳とは？これまで以上にシュールさが際立った、見所満載の作品に仕上がりました。



[CMのあらすじ]

眼鏡&スーツ姿で知的な雰囲気松ちゃん。「あのセリフ」で独特な通訳を披露！

舞台は、ハリウッド超大作映画出演者の来日記者会見。会場には多くの報道陣が詰めかける中、主演俳優とヒロインの2人に、記者から「この作品の見所は？」と質問されます。「I think this movie is…」と映画について語り始める俳優に続き、「えー、」と話し始める通訳さんの声に、どこか聞き覚えが。すると、眼鏡姿のスーツを着た松本さんが、「バイトするならー、するならそれはタウンワーク」と、独特な同時通訳を開始します。まったく意味の異なる通訳に気付かず、依然として映画について語り続ける俳優。それに合わせ「バイトするなら、そりゃもうタウンワークなんだ」「それはもうバイトするならタウンワークや」と、滑らかに通訳を続け、最後には、「うーん、タウンワークだね！」と力強い口調で締める松本さん。落ち着いた雰囲気とは裏腹なシュールな展開に、思わず笑ってしまう作品です。

■オンエア情報

9月12日（月）～ TVオンエア。

特設サイト (<http://cm.townwork.net/>) では9月9日（金）よりTV-CMとメイキング映像をご覧ください。

■クレジット&出演者情報

- ・「通訳」編
- ・出演：松本人志

【本件に関するお問い合わせ先】
<http://www.recruitjobs.co.jp/RJB/contact.html>

[撮影の様子]

撮影は、強い日差しが照りつける真夏、首都圏近郊のスタジオで行われました。リアルに作りこまれた会見場のセットに、記者役を演じる多数のエキストラの方が着席し、スタンバイしている様子は、まるで本物の記者会見そのもの。そんな独特の緊張感に包まれたセットに登場した松本さんは、ベージュのスーツをスマートに着こなし、眼鏡を掛けた姿で、知的な雰囲気です。ステージ上に用意された通訳席に座ると、スタッフの説明を真剣な表情で聞き入っていました。

苦手な英語でのアドリブも披露！

撮影は、記者の質問を、俳優役に伝えるシーンからスタート。「この作品の見所は？」という問いかけを、俳優役に訳して伝える松本さん。よく聞いてみると、「I like this movie」と、アドリブの英語を披露していた様子。撮影終了後のインタビューで、松本さん自身も「本当はなんて言えばいいのかわからなくて、全然違うこと言っていましたね。よくあの人（俳優役の方）も答えてくれましたよね」と思い出し笑い交じりに振り返っていました。撮影が進んでいくにつれ、「いまわたしが言えることは、バイトするならタウンワークなんだ、と」「わたしはタウンワークしか考えられない」「なぜバイトするならタウンワークなのか？うーん、それはもう絶対にバイトするならタウンワークなんだ！」など、次々とアドリブを連発する松本さん。強引な通訳内容に自ら吹き出しそうになるシーンも見られましたが、徐々に、通訳の独特な間合いを表現されていく様子に、このCMシリーズで数々の職業を演じてこられた松本さんの貫禄が表れていました。撮影終盤では、徐々に熱が入ってきたのか、落ち着いた様子で笑顔を浮かべる俳優役の方に対し、語気を強めて「なにを言っているんだ、バイトするならタウンワークだろう！」と訳す松本さんの温度差に、スタジオ中から笑いが起こっていました。

通訳を演じられた松本さんですが、実は外国語が苦手だそう。「僕、話せる外国語ほんとにないんです。照れちゃいますよね。たまに街で話しかけられると、アップアップします」と教えてくれました。



■新CMカットデータ

○クレジット表記：「通訳」編

